

今月のピックアップ生薬

1月

展示番号 NO.22 五味子(ゴミシ)

◆使用部分 (つかうところ)

チョウセンゴミシの果実。乾燥させて使う。赤茶～黒っぽい色をしている。…**しわしわなっています。**

◆産地 (とれるところ)

北海道～本州中北部、サハリン、中国や朝鮮半島など…**ある程度寒いところが良いらしい。**

◆用途 (どんな時に使う?)

漢方で、咳をしずめるのに使います。また滋養強壮にもなどにも用いられます。ラットには、ストレス性の胃潰瘍にもきく。…**咳がひどい時にきくそうです。漢方の小青竜湯などに入ります。**

◆どんな植物

つる性の木で、落葉します。葉先がとがっています。花は、5～6月にその年に生えてきた、若い枝のわきに黄白色の小さな花を



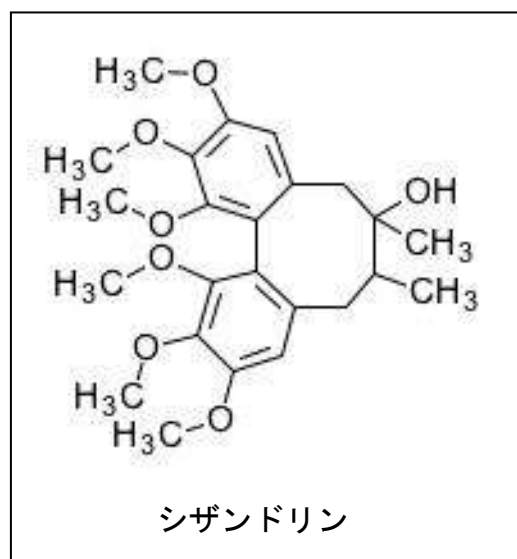
咲かせます。実は、花がついていた部分が伸びて、そこに鈴なりに
になります。赤く付いた実は、南天(ナンテン)の実にも似ていま
す。実の皮をむくと、枝豆のような形の種が出てきます。じん臓
のような形にも似ているといわれます。

◆化学成分： シザンドリン (schizandrin)

分子式： $C_{24}H_{32}O_7$

分子量：432.21 g/mol

痛みを抑える、胃の運動を抑える、
ストレス潰瘍予防、胃液分泌抑制
などの働きあり。

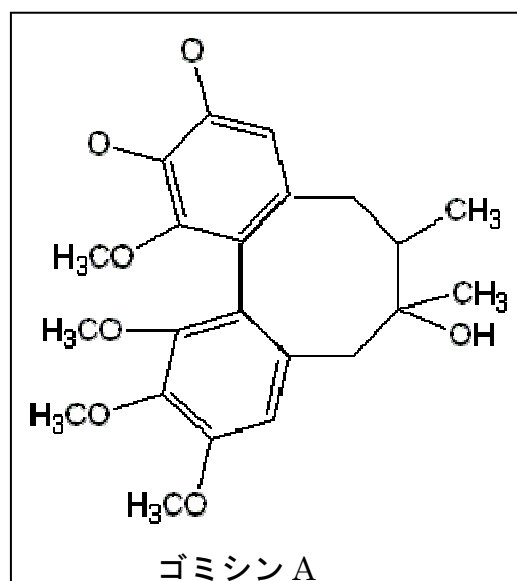


◆化学成分： ゴミシン (gomisin A)

分子式： $C_{23}H_{28}O_7$

分子量：416.46 g/mol

咳をしずめたり、熱を冷ます作用
あり。



来月は、No.44の薄荷(ハッカ)を取り上げます。

実際の医薬品としての効能などについては、薬剤師や、医師にご相談ください。